

「イエスの空の墓」四福音書比較

マタイ 28 章	マルコ 16 章	ルカ 24 章	ヨハネ 20 章
<p>1 さて、安息日が終わって、</p> <p>週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。</p> <p>2 すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石をわきへ転がし、その上に座ったのである。</p> <p>3 その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。</p> <p>4 番兵たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。</p> <p>5 天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだから、</p> <p>6 あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。</p> <p>7 それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』確かに、あなたがたに伝えました。」</p> <p>8 婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、</p> <p>弟子たちに知らせるために走って行った。</p>	<p>1 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。</p> <p>2 そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。</p> <p>3 彼女たちは、「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。</p> <p>4 ところが、目を上げて見ると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に大きかったのである。</p> <p>5 墓の中に入ると、</p> <p>白い長い衣を着た若者が右手に座しているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。</p> <p>6 若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。</p> <p>7 さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」</p> <p>8 婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。</p> <p>そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。</p>	<p>23:56家に帰って、香料と香油を準備した。</p> <p>1 そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。</p> <p>2 見ると、石が墓のわきに転がしてあり、</p> <p>3 中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。</p> <p>4 そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。</p> <p>5 婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、</p> <p>二人は言った。「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。</p> <p>6 あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さなさい。</p> <p>7 人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」</p> <p>8 そこで、婦人たちはイエスの言葉を思い出した。</p> <p>9 そして、墓から帰って、十一人とほかの人皆に一部始終を知らせた。</p> <p>10 それは、マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たちであった。婦人たちはこれらのことを使徒たちに話したが、</p> <p>11 使徒たちは、この話がたわ言のように思われたので、婦人たちを信じなかった。</p> <p>12 しかし、ペトロは立ち上がって墓へ走り、</p> <p>身をかがめて中をのぞくと、亜麻布しかなかったもので、</p> <p>この出来事に驚きながら家に帰った。</p>	<p>1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。</p> <p>そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。</p> <p>2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」</p> <p>3 そこで、ペトロとそのもう一人の弟子は、外に出て墓へ行った。</p> <p>4 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。</p> <p>5 身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中には入らなかった。</p> <p>6 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。</p> <p>7 イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。</p> <p>8 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。</p> <p>9 イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。</p> <p>10 それから、この弟子たちは家に帰って行った。</p> <p>11 マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中を見ると、</p> <p>12 イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。</p> <p>13 天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」</p> <p>14 こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。</p> <p>15 イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」マリアは、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」</p> <p>16 イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。</p> <p>17 イエスは言われた。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行って、こう言いなさい。『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る』と。」</p> <p>18 マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。</p>
<p>9 すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。</p> <p>10 イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」</p>			
<p>11 婦人たちが行き着かないうちに、数人の番兵は都に帰り、この出来事をすべて祭司長たちに報告した。</p> <p>12 そこで、祭司長たちは長老たちと集まって相談し、兵士たちに多額の金を与えて、</p> <p>13 言った。「『弟子たちが夜中にやって来て、我々の寝ている間に死体を盗んで行った』と言いなさい。</p> <p>14 もしこのことが総督の耳に入っても、うまく総督を説得して、あなたがたには心配をかけるないようにしよう。」</p> <p>15 兵士たちは金を受け取って、教えられたとおりにした。この話は、今日に至るまでユダヤ人の間に広まっている。</p>			